

令和3（2021）年さけます来遊状況（第3報：10/31現在）

1 カラフトマス来遊状況

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
水産資源研究所 さけます部門 資源増殖部

- カラフトマスは奇数年級と偶数年級で異なる繁殖集団を形成していると考えられており、本年は「奇数年級」にあたる
- 来遊数は76万尾〔前年同期比：16%、令和元（2019）年同期比：70%、平年*1同期比：11%〕
- 10月末までの来遊数は、平成元（1989）年以降で最も少ない

*1：平年とは、平成元（1989）～令和元（2019）年の奇数年の平均値

10月31日現在、北海道のカラフトマス来遊数は76万尾〔前年同期比：16%、令和元（2019）年同期比：70%、平年同期比：11%〕となっています。

カラフトマスは2年で回帰するため、奇数年級と偶数年級で異なる繁殖集団を形成していると考えられます。本年は奇数年級にあたり、その来遊数は平成19（2007）年以降減少しています。10月31日現在の来遊数は76万尾で、平成元（1989）年以降で最も少なくなっています（表1および図1）。

表1. カラフトマス来遊数(北海道)

			単位:万尾		
来遊年	10/31 現在	最終	来遊年	10/31 現在	最終
2008(H20)	704	704	2009(H21)	1,111	1,111
2010(H22)	731	731	2011(H23)	553	553
2012(H24)	221	221	2013(H25)	325	325
2014(H26)	158	158	2015(H27)	210	210
2016(H28)	890	890	2017(H29)	123	123
2018(H30)	683	683	2019(R1)	109	109
2020(R2)	473	473	2021(R3)	76	-
			平年	674	674

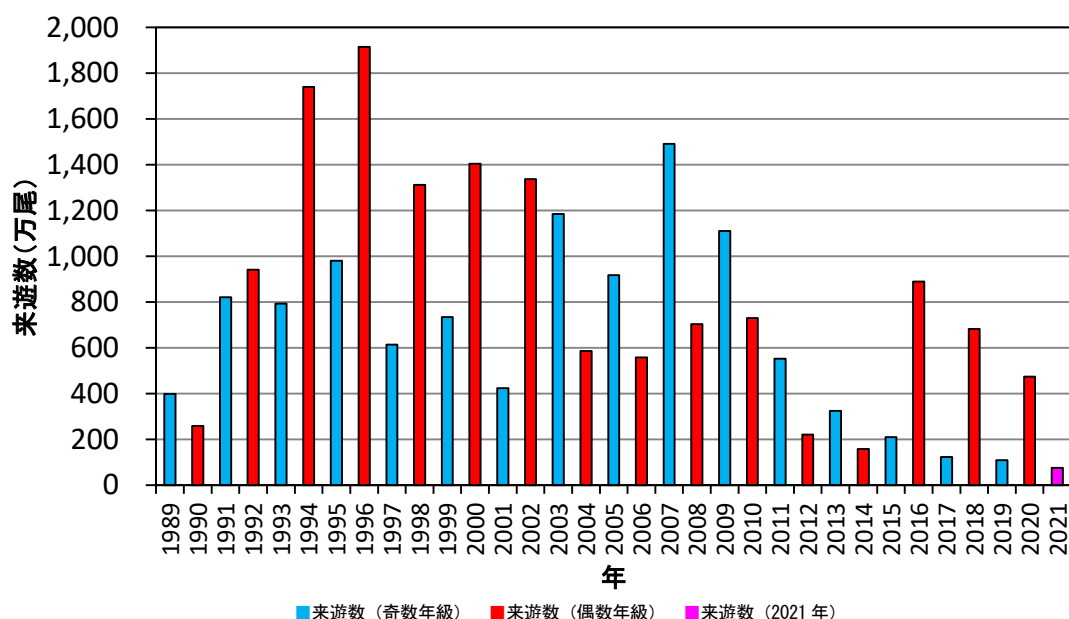


図1. 7月1日～10月31日までのカラフトマス来遊数（累計値）。2021年は速報値。

地域別にみると、日本海側（オホーツク海区および日本海区）では 74 万尾〔前年同期比：17%、令和元（2019）年同期比：71%、平年同期比：13%〕、太平洋側（根室海区～えりも以西海区）では 2 万尾〔前年同期比：7%、令和元（2019）年同期比：49%、平年同期比 3%〕と、両地域ともに平成元（1989）年以降で最も少ない来遊数となっています。

カラフトマスの河川捕獲数は、10 月 31 日時点で 21 万尾〔前年同期：29%、令和元（2019）年同期比：95%、平年同期：30%〕となっています（表 2）。

採卵数については 10 月末時点で 1 億 1,432 万粒で前年同期の 80%となっており、令和 3 年度の採卵計画数 1 億 7,320 万粒の 66%を確保しています。

本年の北海道のカラフトマスの捕獲採卵は 10 月末で終了となっており、11 月以降は沿岸でわずかに漁獲されるのみとなります。

表 2. カラフトマス河川捕獲数(北海道)

			単位: 万尾		
来遊年	10/31 現在	最終	来遊年	10/31 現在	最終
2008(H20)	92	92	2009(H21)	131	131
2010(H22)	87	87	2011(H23)	59	59
2012(H24)	26	26	2013(H25)	48	48
2014(H26)	26	26	2015(H27)	24	24
2016(H28)	76	76	2017(H29)	18	18
2018(H30)	92	92	2019(R1)	22	22
2020(R2)	73	73	2021(R3)	21	-
			平年	69	69